

5 受験にあたっての主な注意事項

(1) 試験当日の注意事項

- ① 受験票は試験当日必ず持参してください。
- ② 受験者は、試験開始15分前までに受験票に指示された試験室・受験番号貼付の席に着席してください。
時間には十分余裕をもって試験室に入ってください。試験場へは午前8時30分より入場できます。
- ③ 試験開始時間に遅刻した場合は、試験開始後20分以内の遅刻に限り受験を認めます。遅刻の理由を係員に申し出て、指示に従ってください。
なお、交通機関の事故や天災等不可抗力による遅刻の場合等、指示する内容が異なりますので必ず「遅刻の理由」を申し出てください。
- ④ 当日は、受験票、筆記用具（HBの黒鉛筆、黒芯のシャープペンシル、プラスチック製の消しゴム）、時計（時刻表示機能だけのもの）を持参してください。
- ⑤ 指定の試験科目全てを受験しないと欠席扱いになります。
- ⑥ 試験終了までは試験室から退出できません。

(2) 試験時間中の注意事項

- ① 所持品について
 - ア 受験票のほかに試験時間中、机の上に置けるものは、黒鉛筆（HBに限る）又はシャープペンシル（黒芯のみ）、プラスチック製の消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類を除く）、時計（辞書や電卓機能があるもの、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、大型のものを除く）、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋または箱から中身だけを取り出したもの）、目薬です。これ以外の所持品を置いてはいけません。
 - イ 携帯電話等の電子機器は試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。
- ② 解答上の注意事項
 - ア 解答には必ずHBの黒鉛筆又は黒芯のシャープペンシル、プラスチック製の消しゴムを使用してください。
 - イ 「電子辞書」や「ICレコーダー」等の電子機器、「定規」「コンパス」「電卓」「そろばん」「グラフ用紙」等の補助具は使用できません。また、和歌・格言が印刷されている鉛筆等は使用できません。
- ③ その他の注意事項
 - ア 試験時間中に監督者が写真票と受験者の確認を行います。不正行為防止のため、「マスク」や「帽子」を一時的に外すよう監督者が指示することがあります。
 - イ 上履きは必要ありません。必要な場合は受験票で指示します。

(3) 不正行為

次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合、その場で受験の中止と退出を命じられ、それ以降の受験はできなくなり、成績は無効になります。

- ① カンニング（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること，他人の人から答えを教わること等）をすること
- ② 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- ③ 試験時間中に，携帯電話・スマートフォンや電子辞書，ICレコーダー等の電子機器類を使用すること。
- ④ 試験時間中に，定規，コンパス，電卓等の補助具を使用すること。

(4) 付添について

受験生以外の入場を最小限にするため保護者の入構はできません。保護者控室也没有ないのでご注意ください。